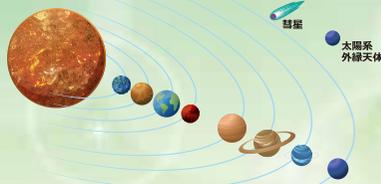


土星 Saturn

土星は太陽系の中で木星に次いで2番目に大きな惑星で、約764個の地球が土星の中に収まるくらい大きさです。木星と同じようにガスでできた巨大なガス惑星の一つで、密度が非常に小さく、もし太陽系全体が入るくらい大きなプールがあったとすると、土星だけ水に浮いてしまうとされています。土星は8惑星のうち太陽から第6番目にあり、地球から肉眼で見える5つの惑星の中で最も遠い位置にあります。土星の特徴であるきれいな環は、おもに氷水や岩の小さな粒子でできています。この環は、とても薄いため、地球から土星を真横に見る位置になると、まるで環が消えてしまったかのように見える『環の消失』という現象が観察できます。2025年3月24日に見られましたが、もう1回2025年11月25日にも観察のチャンスがあります。環の観察には望遠鏡が欠かせません。およそ15年に1回のチャンスがあるので、次回は2039年に見られるでしょう。



太陽系とは 太陽の周りを回る天体や物質すべての集団

利用案内

- 投影日時**
- 土曜・日曜日共通 1回目 11時00分～11時30分 2回目 15時30分～16時
 - プラネタリウムの投影スケジュールにつきましては、児童センターまでお問い合わせいただくか、児童センターだより、ホームページ、伊勢崎市社協公式SNSにてご確認ください。
 - 入場は投影開始15分前からです。
 - 定員 100名
 - 投影は未就学児も観覧できますが、保護者の同伴が必要です。
 - 途中入場・再入場はできません。

- 休館日**
- 毎週火曜日、祝日（5月5日を除く）
 - 年末年始（12月29日～1月3日）

- 観覧料**
- 無料です。

- 交通案内**
- 電車：東武伊勢崎線「新いせさき駅」下車 徒歩20分
 - いせさきコミュニティバス「あおぞら」
 - ④境シャトルバス：「児童センター」下車 徒歩0分



入館の際は、「児童センター利用簿」の記入をお願いしております。また、投影は予告なく変更または中止になる場合がありますのでご了承ください。

公式ホームページはこちら

伊勢崎市社会福祉協議会

<https://ise-shakyo.or.jp>

公式SNSはじめました!!

ID: isesakishakyo

ID: @isesakishakyo

伊勢崎市児童センター

〒372-0023 伊勢崎市粕川町1609 TEL. 0270-23-6463 FAX. 0270-23-6477

伊勢崎市児童センター プラネタリウム

2025夏 - 2026春 No.163



夏のプラネタリウム

『天の川に輝く夏の大三角』

夏の夜空を見上げると、星が集まって川のように見える『天の川』があります。その天の川をばさんで七夕物語のおりひめ星（こと座の1等星ベガ）とひこ星（わし座の1等星アルタイル）が輝いています。そしてもうひとつ、天の川には、はくちょう座の1等星デネブがあります。この3つの星を結ぶと三角形ができます。これを『夏の大三角』と呼んでいます。このほか、夏を代表する星と星座を順に巡りましょう。

【6月～8月投影予定】



夏のこよみ

- 6月** 11日 ● 満月（ストロベリームーン）
25日 ● 新月
- 7月** 11日 ● 満月（バックムーン）
25日 ● 新月
- 8月** 9日 ● 満月（スタージョンムーン）
13日 ● ペルセウス座流星群が極大
23日 ● 新月

秋のプラネタリウム

『勇者ペルセウスとお化けくじら』

秋の夜空は明るい星座が少ない季節ですが、とてもロマンチックな星空です。なぜなら、ギリシャ神話の壮大な物語が夜空を飾っているからです。ペガサスに乗ったペルセウスは、お化けくじらのいけにえになったアンドロメダ姫を助けます。この物語の登場人物であるペルセウス、お化けくじら、アンドロメダ姫、ペガサスも、みんな星座になっています。また、中秋の名月という言葉があるとおり、秋はお月さまがきれいに見える季節です。

【9月～11月投影予定】



秋のこよみ

- 9月** 8日 ● 満月（コーンムーン）・皆既月食
22日 ● 新月
- 10月** 6日 ● 中秋の名月（十五夜）
7日 ● 満月（ハンターズムーン）
21日 ● 新月・オリオン座流星群が極大
- 11月** 2日 ● 後の月（十三夜）
5日 ● 満月（ビーバームーン/
本年最大の満月、スーパームーン）
20日 ● 新月

冬のプラネタリウム

『夜空に輝く星座たち』

冬の夜空は、一年中で最も美しいといわれています。明るい1等星が多く、さまざまな色の星が見え、肉眼でも見える星雲や星団があるからです。また、上空の空気の流れが強いので、星がキラキラまたたいて見えます。

冬の代表的な星座に、オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンがあります。この3つの星を線で結ぶと大きな正三角形ができます。これを『冬の大三角』と呼びます。冬の星座をさがしてみましょう。

【12月～2月投影予定】



冬のこよみ

- 12月** 5日 ● 満月（コールドムーン）
14日 ● ふたご座流星群が極大
20日 ● 新月
- 1月** 3日 ● 満月（ウルフムーン）
4日 ● しぶんぎ座流星群が極大
19日 ● 新月
- 2月** 2日 ● 満月（スノームーン）
17日 ● 新月

春のプラネタリウム

『春の星空さんぽ』

賑やかだった冬の星空に別れを告げ、穏やかな暖かみのあるやさしい春の星空がやってきます。まずは、北の空高く輝く『北斗七星』を見つけましょう。水をくむのに使うひしゃくの形に並んでいる7つの星が目印です。ひしゃくのカーブをそのまま伸ばしていくと『春の大曲線』と呼ばれるカーブがあり、1等星のアルクトゥールスとスピカが見つかります。このアルクトゥールスとスピカに2等星のデネボラを結んでできる三角形を『春の大三角』と呼んでいます。春の星空をゆったりとさんぽしてみましょう。

【3月～5月投影予定】



春のこよみ

- 3月** 3日 ● 満月（ワームムーン）・皆既月食
19日 ● 新月
- 4月** 2日 ● 満月（ピンクムーン）
17日 ● 新月
- 5月** 2日 ● 満月（フラワームーン）
17日 ● 新月
31日 ● 満月